



亀頭包皮



おちんちんの先を亀頭、包んでいる皮を包皮といいます。ここに細菌がついて炎症を起こすのが亀頭包皮です。赤ちゃんのおちんちは生まれつき包茎といって、包皮が亀頭をすっぽりおおっているため、すき間にアカがたまって不潔になりやすく、そこに便中の菌などがつくのが原因です。亀頭や包皮が赤く腫れ、最初はかゆみからしきりにおちんちんを気にします。炎症がすすむとうみのような液が出てきたり、おしっこのときに痛がって泣いたり、ときには出血しておしっこが赤みを帯びることがあります。

治療は・・・炎症を起こしている部分を消毒してから抗生物質の塗り薬を塗ります。包皮の内側に垢がたまると再発することがあります。繰り返す時は受診して包皮をむき、垢をとる処置を受けると安心です。

自宅で・・・予防は、包皮の内側に垢をためないことです。入浴のとき、包皮が楽にむける部分までずらして、ぬるま湯で洗いましょう。ただし、無理にむくと包皮がもどらなくなったり、出血することがあります。あくまで、無理なくむける範囲にとどめてください。



食中毒

ジメジメして過ごしにくい梅雨の時期になりました。梅雨の時期から夏にかけて食中毒が発生しやすくなります。十分注意しましょう。

食中毒は細菌が付いた食物を口にするることによって起こります。原因となる細菌にはカンピロバクター菌、サルモネラ菌、ブドウ球菌、などいくつもあり、それぞれ特有の症状がみられます。症状の重さは細菌によって異なります。

症状は下痢と嘔吐、腹痛、発熱などが共通にみられ、場合によっては血便が出ることもあります。原因となる食物を口にしてから発症するまでの時間は、菌の種類によって違いますが、早く現れるほど重い食中毒といわれます。軽症の場合は、脱水症状を起こさないように水分を補い、安静にしましょう。しかし、抵抗力の弱い乳幼児は重症化しやすいので、早めに受診をしましょう。

☆食中毒は、予防が最も大切です。

- ・うがい、手洗いを徹底しましょう。
- ・調理器具はいつも清潔にしておきましょう。
- ・食べ物はよく火を通しましょう。
- ・生ものや日にちの経った食べ物は、食べないようにしましょう。

～日曜日に予防接種～

健診ができます～

時期的に病気が落ち着いてきました。体調が良い時にお早めに予防接種、健診を済ませておきましょう。



また、冬期の日曜日は病気の方が多く、診療を優先させていただきましたので、予約枠もすぐにいっぱいになってしまい、十分に乳児健診の時間を設けることができませんでした。

しかし、夏期は日曜日でも比較的混雑はありませんので、乳児健診のご予約をお受けすることができます。

★ご希望の方が多くなる可能性もございますので、日曜日の健診、予防接種は早めのご予約をお勧め致します。

★ご予約は、受付直通電話（556-1556）までお気軽にご相談下さい。

（予約電話で入らない場合でも、ご予約状況によっては、予約ができる場合があります。）

★夜間当番時には、20時まで予防接種を実施いたします。

★予防接種・健診・診察が一緒にできます！

湿疹・おむつかぶれ・あせも・便秘・虫刺されなどお気軽にご相談ください。お薬や塗り薬も処方できます。

★複数のご予約（健診と予防接種など）は受付直通電話でも受付いたします。

★ お願い ★ ★ ★ ★ ★

健診はお子様の发育状態をみますので多少お時間がかかります。乳児健診に関しましては必ず事前にご予約をお願いします。

ご予約のない場合はお待たせしてしまう場合がありますのでご了承ください。

病院で「病気をもらいそう・・・」？

アレルギーの薬が欲しいけれど、病気をもらいそうで・・・という方ご安心下さい。

風邪症状がなく、伝染性（人にうつる）の病気以外の方は、『エンゼルルーム』が、ご利用いただけます。喘息・アトピーの定期受診や便秘、湿疹、おむつかぶれなどは受付にお申し出ください。

風邪などがうつる心配をせず、お待ちいただけます。

★生まれたばかりの赤ちゃんなどは、個室をご利用いただくこともできます。（ご来院前に受付までご連絡ください。）

今後の予定



- 6月 9日（木）院長小学校へ健診の為
午後の診察は15時～
23日（木）夜間当番（～23時まで）
予防接種は20時まで実施
- 7月 12日（火）院長3歳児健診の為
午後の診察は15時半～
18日（月）小児科休日当番
（9時から17時まで）
予防接種は16時まで実施